

学年	コース	教科	科目	類型	必・選	単位数
1	進学一貫	芸術	書道 I	全	選択	1

講座のねらい

- 1、小中学校での書写を基本に、文字を素材とした芸術としての書道を学び、古典に基づく表現力・鑑賞力を身に付けます。
- 2、漢字・仮名・漢字仮名交じりの書・実用書（硬筆）と幅広い活動を通して書に興味を持たせ、豊かな感性と表現力を身に付けます。

使用教材及び問題集

書道 I（光村図書）

毎時間、漢字(九成宮醜泉銘)のお手本を配布します。

授業の内容と進め方

基本的な用筆法・執筆法・姿勢を確認しながら、各章の活動内容の目標を説明した上で、机間巡視をしながら、実技指導を行います。授業の終わりには作品を提出するよう指示をします。

講座の到達目標

書の文化に親しみと関心を持たせ、中国や日本の古典作品の臨書を通じて表現技法や鑑賞力を養います。また、実用書の練習を通じて書写能力全般の向上を目標とします。

評価の観点・テスト・課題など

評価は具体的に次のものを対象にします。

- ・各時間提出した作品（表現力・鑑賞力など）
- ・学習活動への参加状況（出席状況・学習態度・意欲など）
- ・1・2学期期末考査の成績
- ・忘れ物やマナー面

1年間の評定は上記の内容を総合して判断します。

備考

授業の計画

1 学期 学習計画および学習内容

書道に必要な用具・用材や執筆法・姿勢について学びます。
古典作品を鑑賞しながら、漢字の成立と変遷について学びます。楷書の用筆・運筆・結構を理解し、毛筆で練習します。
臨書の意義を知り、唐の4大家の作品を鑑賞した上で、それぞれの書風の違いを実技を通して学びます。
漢字仮名交じりの書を書きます。

2 学期 学習計画および学習内容

行書の用筆・運筆・字形の取り方・特徴について学びます。王羲之や空海の作品を鑑賞し、その特徴や書風を理解して臨書練習します。
隸書体の用筆・運筆・字形の取り方を学び、臨書練習します。

3 学期 学習計画および学習内容

さまざまな書風を用いて、多様な表現で漢字仮名交じりの書を書きます。
生活に密着した実用書として、手紙文・葉書・挨拶文の書き方を学び、毛筆とペン字の両方で練習します。
篆刻を行います。